

令和5年5月1日

ひので  
議会だより



目の出町  
ひのでちゃん

# みらい

No. 206

令和5年  
第1回定例会

## Contents

定例会 PICK UP	.....	P 2
議案と結果	.....	P 3
予算決算 Q&A	.....	P 5
一般質問 町政を問う	.....	P 8
厚生文教常任委員会視察報告	.....	P 13
議会日誌	.....	P 14







日の出町  
「ひのでちゃん」

**議案第8号**  
生涯青春の湯・ひので三ツ沢つるつる温泉センター設置  
及び管理に関する条例の一部を改正する条例

入館料の改定を行います！

(単位：円)

		旧料金	新料金
町 民	大 人	500	600
	小 人	250	300
町 外	大 人	860	960
	小 人	430	480
個室料金（1室1時間）		1,080	1,300

**議案第9号**  
日の出町国民健康保険条例の一部を改正する条例

**議案第14号**  
日の出町出産助成金支給に関する条例を廃止する条例

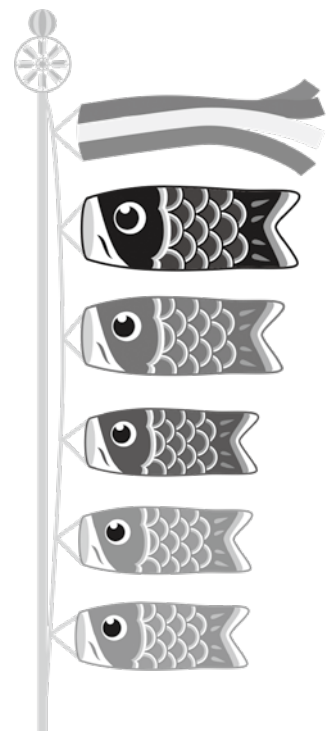
出産育児一時金の支給総額が42万円から50万円になったことで、町が独自で行っていた3万円の支給がなくなります。

**議案第11号**  
日の出町消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例の  
一部を改正する条例

**議案第12号**  
日の出町女性消防隊員の報酬及び費用弁償に関する条例の  
一部を改正する条例

消防団の処遇改善のため、「出動手当」を「出勤報酬」と改め、報酬額の改定を行います。

		支給単位	旧	新
消防団員	災 害 出 動	2時間以内	1,900円	2,500円
		2～4時間		4,000円
		4～8時間		6,000円
		8時間以上		8,000円
	1回（その他の出動）		2,500円	
女性消防隊		1回	1,900円	2,500円



# 議案と結果

## 令和5年第1回日の出町議会定例会

### <町長提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議案名	自	レ	公	共	明	環	結果
1	第五次日の出町長期総合計画（後期基本計画）の策定について	○	○	○	○	○	○	可決
2	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	同意
3	日の出町特別職の職員の給与の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	可決
4	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
5	日の出町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	×	可決
6	日の出町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
7	日の出町多目的施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
8	生涯青春の湯・ひので三ツ沢つるつる温泉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
9	日の出町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
10	日の出町営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
11	日の出町消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
12	日の出町女性消防隊員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
13	日の出町未来わくわく支援金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
14	日の出町出産助成金支給に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	可決
15	令和4年度日の出町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	可決
16	令和4年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	可決
17	令和4年度日の出町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	可決
18	令和4年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	可決
19	令和4年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	可決
20	令和5年度日の出町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
21	令和5年度日の出町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
22	令和5年度日の出町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
23	令和5年度日の出町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
24	令和5年度日の出町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
25	日の出町道路線の認定について（塩田20号線）	○	○	○	○	○	○	可決
26	令和5年度日の出町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決

### <議員提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議案名	自	レ	公	共	明	環	結果
1	日の出町議会の個人情報の保護に関する条例	○	×	○	×	○	×	可決
2	敵基地攻撃能力の保有の撤回と対話の外交を求める意見書	×	○	×	○	×	○	否決

<陳情>

番 号	陳 情 名	陳 情 者	結 果
4 陳情第 8 号	日の出町議会会議規則に「請願の紹介議員の成立手続の根拠条文」を明記する改正を求める陳情	立憲共和党 代表 角 田 統 領	不 採 択
5 陳情第 1 号	憲法第 16 条の解釈として、次のどちらを含むと解釈するか、明らかにすることを求める件	立憲共和党 代表 角 田 統 領	不 採 択
5 陳情第 2 号	弁護士費用 3 億 5000 万円の発生を回避する措置を求める陳情	立憲共和党 代表 角 田 統 領	不 採 択
5 陳情第 3 号	消費税・適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入延期を働きかける国への意見書提出を求める陳情書	東京土建一般労働組合西多摩支部 執行委員長 宮 崎 透	不 採 択
5 陳情第 4 号	次世代育成クーポン及び、青少年育成支援金廃止（減額）の見直しを求める陳情書	日の出町こどもの未来を守る会 代表 加 賀 亜 陽	趣旨採択

<各会派の名称と所属議員>

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印・・・会派代表者）	
自民蒼政クラブ	自	★東 亨・小玉 正義・平野 隆史・濱中 映慈・川脇 敏徳・木住野 智行・濱中 直樹	7 人
レモンの会	レ	★青鹿 和男・大澤 弘子	2 人
公 明 党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2 人
日 本 共 産 党	共	★折田 眞知子	1 人
明 政 会	明	★清水 浩	1 人
環境といのち	環	★中西 千恵	1 人

6月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
5/21	22	23	24	25	26 議会運営 委員会	27
28	29	30	31 本会議 (議案審議)	6/1	2 本会議 (一般質問)	3
4	5 本会議 (一般質問)	6	7 総務 まちづくり 常任委員会	8 厚生文教 常任委員会	9 議会運営 委員会	10
11	12	13	14 本会議 (議案審議)	15	16	17

会議日程は、変更となる場合があります

本会議の会議録をインターネット公開しています。

会議録とは、議会の活動経過を開会から閉会まで詳しく記録した公文書です。  
知りたい情報を広く的確に調べることができますので、積極的にご活用ください。

アクセス方法

町のホームページ  
(www.town.hinode.tokyo.jp)

↓  
町議会

↓  
会議録

↓  
会議録検索システム



日の出町議会情報には「議会開催日程・内容・議会だより」等も掲載しています。

請願・陳情は！

6月の定例会では、5月15日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

平成 28 年 9 月 20 日より、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱が制定されました。

- 件名は、おおむね50字以内、趣旨、及び理由は合わせておおむね1,500字以内としてください。
- 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。（開庁時にご来庁願います。）
- その他、詳しいことは議会ホームページの、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱または議会事務局まで問い合わせください。

3月13・14日に予算決算常任委員会が開催され、歳入歳出に対して249項目にわたる質疑等が出され、活発かつ慎重に審議が行われました。

3月24日の最終日には、委員長報告の後、採決の結果、一般会計、各特別会計、下水道事業会計が全会一致で可決されました。

## 主なQ & A

### 一般会計

**Q** 将来的な歳入確保のためには、定住促進等が不可欠であるが、そのための取り組みは。

**A** 安心して出産、子育てできる環境構築を目指し、令和6年度の目処にこども家庭センターの開始を準備している。また、都市計画マスタープランの策定に着手し、土地利用について総合的な検証を進める。

**Q** 公共施設の老朽化に伴い、突発的な支出が発生することが考えられるが、その財源は。

**A** 社会資本等整備基金に積み増しを行ってきたので、そちらを充当する。

**Q** 未来わくわく支援金と未来旅立ち支援金はどれくらい継続するのか。

**A** おおむね3年間で検証していく。

**Q** 電気自動車充電設備設置工事1287万円の内容と耐用年数について。

**A** 急速充電器1台、普通充電器3台を増設。耐用年数は、設計上8年程度使える。充電ケーブルの抜き差し1万回でケーブルの交換が必要となる。

**Q** コミュニティバス運行補助金1600万円について。

**A** 運行経費は1740万円、都のコミュニティバス導入支援金750万円が3年間入る、乗車料収入136万円でその他不足分は町が補助を行う。

蓄電池、ビークル・ツー・ホーム、断熱窓、断熱ドアの改修などが対象。都の補助制度で採択されたもので、当該補助で賄えない部分の上限の2分の1を町として補助する。

**Q** 子ども・子育てアドバイザーについて。

**A** 令和5年度の新規事業。専門的知見を持った大学教授等の有識者1名とアドバイザー契約を結ぶ予定。（仮称）こども家庭センターの設置、子ども基本条例の制定等に関することを考えている。

**Q** 温泉センター施設の安全管理対策を望む。

**A** 26年が経過しそのままになっているバックヤードの安全対策・立ち入り禁止区域対応・片付け・掃除などから始めていきたい。点検を踏まえた検討を慎重に、柔軟にしていかなければならない。



ぐるり〜んひのでちゃん

**Q** エコ住宅促進補助金について。  
**A** 太陽光発電、太陽熱の温水器



Q 「トマト」の普及促進について。

A 赤いトマト・町内産・中玉以上の規定を設けてブランド維持に努めている。トマト業者・トマト農家・農業振興委員会を含めて、未永く「ひのでトマト」が愛されるように取り組んでいく。



Q 向殿橋補修設計修正委託について。

A 各部が経年劣化により損傷箇所が明確になったため補修工事を行う。令和2年度から4年度において入札不調になり、令和5年度は、施工計画・工事方法も再度見直しを委託し、令和6年度に工事発注予定。

Q 情緒固定学級について\*。

A 現段階では1学級を予定し、正規職員が2名都から配置される。子供に寄り添い、サポートするためには、特別支援教育に関わる専門知識が必要となる。各学校特別支援教室に専門性を有する教員がおり、その教員と情報共有等をはかり、指導、支援に当たっていく。

※ 知的発達の全般的な遅れがなく、自閉症又は情緒障害があり、特別支援教室の指導では十分にその成果を上げることが難しい児童・生徒のために1学級8人編成で日常的に指導を行う固定学級。

Q 町民グラウンド管理経費1億8713万円について。

A 照明機器LED化、防球ネット更新工事。7月頃から150日程度の工事期間を想定。

Q ユネスコ登録記念郷土芸能まつり特別補助金について。

A 下平井の鳳凰の舞がユネスコ文化遺産に登録されたことを祝し、10月に町の郷土芸能とともに郷土芸能まつりを開催する予定。



下平井の鳳凰の舞

Q 各学校のWi-Fi環境の改善状況は。

A インターネット接続方法をPoE接続方式に変更したところ、数字的には大幅に改善したものの、依然つながりにくい現象もある。引き続き、業者と相談し改善に向けて努める。

Q 空き家等対策計画策定支援業務委託料について、その見通しは。

A 東京都の施策をベースに、町の地域特性や利活用など様々なニーズを踏まえ、より実効性のある計画を策定していく。

Q 現在の公債費の借り入れ件数は。

A 令和4年度で110件償還しており、4件が完済となる。令和5年度は107件分を償還経費として計上している。

特別会計

国民健康保険

Q 保険税の軽減世帯が増えているか。

A 軽減世帯数は7割は573世帯、5割は119世帯、2割は502世帯 総数1194世帯で年々増えている。

- 一人当たりの年間医療費は。平均でおよそ40万7千円で年々上がってきている。

## 介護保険

- 介護認定者と認定率は。認定者は882名 認定率は16・6%で今後増加する見込。

## 後期高齢者医療保険

- 75歳以上の人数の推移は。令和4年は、3348人、令和5年は、3461人と113人増加、ピーク予想は令和7年から令和8年。

## 下水道事業会計

- 循環組合の下水道の使用料金は。約1億円。全体は4億円なのでかなりの割合。

# 予算討論

## 要旨

### 一般会計

#### 賛成

レモンの会 大澤弘子

日の出町の財政に関し、財政担当者は次のような問いを首長や議員から投げかけることが多いと考える。①自分の町の財政状況はよいのか悪いのか。②どの程度まで歳出を増やしても財政は悪化しないのか。③どの程度まで地方債を発行しても大丈夫なのか。④地方公会計は何に役立つのか。⑤将来の地方交付税は減ったりしないのか等々。これらの問いに今までうまく答えられていたか。あやふやな答えでその場をしのいだということはなかったか。これらの問いは、財政運営に関する根源的な問いであり、非常に答えにくい問いでもある。

これまでは地方財政制度に精通し、予算編成を長年直接担当してきた者にだけ、言葉にならない肌感覚として答えが共有されてきたと言えなくない。財政をそうした職人芸の世界から解き放ち、財政担当以外の職員はもとより、首長や私たち議員がわかりやすく、丁寧に説明をすることが求められていることは言いつまでもない。

地方自治体は、窓口業務の改革（BPR）、業務

の抜本的な見直しの推進、広報行政としての事務改革の取組み、一方では人口減少や少子高齢化、地域衰退などの問題を抱えている。人口減少によって、生活関連サービスの縮小や行政サービスの廃止、有料化が進み、少子高齢化で廃業が増えたことで、地域経済は打撃を受けている。また、地域が衰退すれば治安や居住環境の悪化、災害危機性の増大、生活の利便性の低下につながり、人口減少に拍車をかけることになる。人口減少に加え、少子高齢化の問題も抱えている。

そこで人口減少や少子高齢化、地域衰退の問題を解決するには、生活の利便性がよく、雇用があり、子育てしやすい環境を整備する必要がある。そのために、地域資源を活用した仕事づくり、遊休不動産の活用、地方への企業の本社サテライトオフィスの誘致、子育て支援の充実による少子化対策などが考えられる。また、若者の雇用機会の創出や子育て支援などが充実すれば、人口減少や少子高齢化に一定の効果が期待でき、地域衰退を防ぐことが可能と考えられる。

最後に、予測のつかない未来とはいえ、過去からの流れの中に現在があり、これからがあると考えるため、今までに話した内容を踏まえ「みんなでつくりよう 日の出町！」を共有し、素敵な町にしていけたらと思ひ賛成討論とする。



縄井 貴代子

帯状疱疹ワクチンについて

Q 都が2023年度から実施する「帯状疱疹ワクチン任意接種補助事業」を活用し、町も取り組むべきと考えるが見解を伺う。

A (町長) 帯状疱疹ワクチン接種が任意接種であることや、有効性や副反応なども考慮し、町の財政事情も踏まえながら判断する。

私学振興について

Q 都内全中学生の4分の1が私立中学に通い、平均授業料は年間約48万6976円となっている。都は2023年度から年収910万円未満世帯の生徒一人当たり10万円を助成する予算案を計上させた。子どもの学費意欲への支援と捉え、町としても助成制度の創設に取り組むべきでは。

A (室長) 経済的支援は考えていないが、子どもたちの卒業後の学びの場の選択を尊重・応援するとともに、今後とも

子どもの学ぶ意欲や成長を身近に支えるために、日々、教育の質の維持・向上に努める町立学校を支援していく。

安心・安全なまちづくり

Q 町内の上水道の老朽化課題について。

A (課長) 都の情報によると、塩化ビニル管が使用されている給水管では、経年劣化による漏水が多く発生している。なお、水道メーターよりも家屋側での漏水の場合

は、東京都指定給水装置工事事業者などへ修繕を依頼していただくこととなる。

Q 災害情報を町へ通報できる手段を確保するべきではないか。

A (課長) 通報システムをあきる野市でも試行している。調査・研究したい。



町内で発生した強風による倒木処理現場



嘉倉 治

日の出町子育て応援拡充の更なる推進を

Q 国の伴走型相談支援のスムーズな給付と万全な相談体制を伺う。

A (町長) 本交付事業に基づき、保健師等の面談による伴走型相談支援及び東京都出産応援事業を活用した経済的支援を実施する方向で、町ホームページ等で周知徹底を図る。

Q 仮称「日の出町子ども家庭センター」の設置概要を伺う。

A (課長) 国は令和4年度中にガイドラインを示す予定であり、現在設置に向けた情報収集と事業検証を進めている。

Q 子育て世帯の住宅支援として空き家の活用や新規戸建て住宅への町補助金の創設をしてはどうか。

A (課長) 町の実情を鑑みると慎重な検討が必要だと考える。小中学校の給食費無償化を次年度以降実施してはどう

か。

A (課長) 無償化するには8千万円の財源が必要となり、現時点では無償化の予定はない。

Q 小中学校の給食費無償化は都内23区で進んでいる。子育て支援の充実は、定住促進にも繋がる。どうしたら財源確保出来るか、町長自ら東京都の市町村総合交付金など支援を取り付けては。

A (副町長) 子育て単独福祉施策を整えたところであり、現状は難しい。

Q 財政事情は理解するが、多くの町民が望んでいる。アクションを起こすべきではないか。

A (町長) 西多摩郡町村会で予算要望していきたい。







かわわき としのり  
川脇 敏徳

固定資産税について

Q 建物の経年と共に税が下がらない理由は。

A (課長) 国が定めた評価方法の中で二つの補正率が影響しているため。

Q 滞納の事前対策は。

A (課長) 支払方法の多様化、夜間・休日納税相談窓口の開設、口座振替の推進などの対策で。

町の組織について

Q 組織における現状の課題について。

A (課長) 少子高齢化、情報化社会に向けた自治体DXの取組、持続可能な資源循環型社会への移行。新たな技術導入とデジタル社会対応の人材確保と育成。インフラ整備や公共施設マネジメントと有資格者の確保など。

Q 日の出町の現状の課題を踏まえて「簡素・スリムな行政運営から柔軟かつ強靭な行政経営へ」のような大胆な取組も必要では。

A (課長) 社会情勢の変化、行財政改革の取組など時期を捉えた機構改革を実施。配分と実行性の高い組織体制の実現を図る為、職員の資質向上と意識改革に取り組む。

Q 公共工事について

A (課長) 改修工事等の修繕履歴、保全台帳の整備・保存状況について。

A (課長) 令和元年度に「公共施設共有システム」を構築し運用。

Q 全庁で情報の共有については整備途上の段階。

A (課長) 工事発注者側の責務である職員の教育は。

A (課長) 事業課配属の職員は、日々の仕事の中で経験と知識を習得する。



ひがし たかのり  
東 亨

災害時要援護者の避難施設に関する協定について問う

Q 福祉避難所の開設まで、どのように移行されていくのか。

A (町長) 必要に応じ、協定を締結している施設と連携し、避難生活が困難な要支援者の受入を要請していく。

Q 災害発生時、緊急避難場所や避難所と福祉避難所とのすみ分けをどのように行っていくのか。

A (課長) 「保健活動マニュアル」に沿って保健師等が必要性を判断し、要支援者の受入を要請していく。

Q 災害時の避難所設営や連携に関し、災害時協定事業者と情報共有や情報交換は定期的に実施しているのか。

A (課長) 事業者連絡会を年4回開催。事業継続計画(BCP)の作成状況、各施設における防災体制等の取組みや課題に関する情報共有、情報交換を行っている。

Q 現在の日の出町のマイナンバーカード交付状況は。

A (課長) バーカード交付状況は。交付枚数9436枚で交付率は57%。

Q コンビニにおける証明書の月間交付通数と利用状況は。

A (課長) 2月1日から28日までの集計で124件の証明書の発行があった。

Q 今後、マイナンバーカードを活用した事業を検討されているのか。

A (課長) デジタル化の推進と併せて引き続き研究はしなければならぬと考えている。





おりた まちこ  
折田 眞知子

学校給食費負担軽減の継続を問う

Q 令和5年度の軽減は。

A 物価上昇を見極めやすい食材の調達や調理方法の工夫で保護者負担軽減に努め、国の補助金の積極的活用ができるよう情報収集する。

Q 給食費の無償化の検討は。

A 未来わくわく支援金を給食費に充てることは可能である。

災害時の大規模停電の取り組みは

Q 庁舎の対策は。

A 消火栓ポンプ及び非常用照明電源として非常用発電機を地下1階に設置。老朽化しているため、令和5年設計、令和6年工事で、災害本部機能確保に対応できるようにしたい。

Q 広域避難所や施設の対策は。

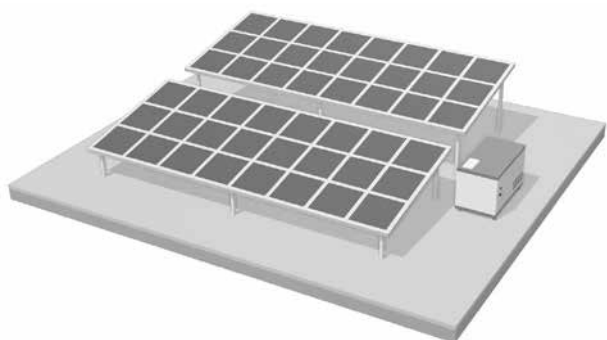
A やまびこホール、グリーンプラザには非常用発電機は無く、太陽光パネルによる電気利用はできるが、蓄電

Q 浄水場の電源確保は。

A システムがない。都では、施設整備の方向性として、高度浄水処理に必要な電力を常用発電設備で確保し、取水、送配などに必要な電力を確保している。大久野浄水所でも72時間の電力を確保するとしている。国民健康保険税引き上げ見送りを

Q 2017年度からの推移は。

A 40歳未満子ども二人、給与等400万円世帯では年税額で5万700円の増額となった。



きしの ともゆき  
木住野 智行

町が管理する町道について

Q この3年間で、建設課が発注する土木工事で、入札不調となった工事と内容について。

A 令和2年度は6件、3年度は2件、4年度は9件で補助道第5号線舗装打換工事（第一工区）等であった。入札不調を回避する方法を検討する必要があり、日の出町行政改革においても、取組項目に「入札方法の研究」を掲げ、対処していかなければならないと考えている。

Q 入札時期を前倒しすることは、できないのか。

A 東京都の市町村土木補助を充当。都においても、早期着工という内容がある。令和5年度からそれを活用し、4月、5月、6月の早い時期に入札を行いたいと考え、準備を進めている。

Q 本宿小東側の道路を大型車両やトレーラーが通行して

いるが、建設課では把握しているのか。

A 大型車等の通行については把握はしている。

Q 大型車輛が通行して路盤の状態や舗装の厚みに構造上、問題はないのか。

A 舗装が傷んでいるのは把握している。現在、早期修繕計画に舗装打換え等の計画は入っていないが、建設課として、今後10カ年の計画を修正し、その段階で検討する。



令和4年度舗装打ち換え工事が入札不調になったキグスリ坂





おおさわ ひろこ  
大澤 弘子

Q 高齢者支援の充実について  
高齢者の社会参加について、  
町独自の対策は。

A (町長) 「高年齢者等の雇用の安定  
等に関する法律」の一部が  
改正された。

A (課長) 今後、国や都から新たな事  
業が展開されれば、事業化  
も検討したい。

Q 老人福祉センターの施設活  
用について。

A (課長) 現在は新型コロナウイルス  
感染症対策のため、貸出を  
行っていないが、今後は地  
域包括ケアシステムに位置  
づけた在り方と介護予防の  
推進等、有効活用に資する  
取組を検証していきたい。

Q 各施設に設置された運動器  
具の利用状況について。

A (課長) 新型コロナウイルスの感染  
拡大に伴い、減少状況にあ  
る。

Q 子育て支援の充実について  
問う

子供の居場所づくりに対す  
る考えは。



A (課長) 地域での育児相談や子育て  
支援事業を行う場を想定し、  
保育所や認定こども園との  
連携を視野に入れた場所づ  
くりの研究を進めると共に、  
環境整備にも力を注いでい  
く。

Q 都の「遊び場づくり」に対  
する補助事業について。

A (課長) 今後、都からの通知等を踏  
まえて対応を協議検討して  
いく。

Q 町内で活動しているプレイ  
パーク団体について、町か  
らの補助は。

A (課長) 現在、社会教育団体として  
補助を行っており、追加の  
補助事業は考えていない。



ひろの たかし  
平野 隆史

Q 日の出町福祉単独施策の見  
直しについて

A (町長) シリーズ行財政改革(特集  
号)が昨年10月に配布され、  
福祉単独施策の見直しを行  
うと示されたが、町民の皆  
様からどのような声が寄せ  
られたか。

町民の皆様からは『なぜ見  
直しを行うのか』『子ども  
が遊べる公園がない』『現  
金給付でありがたい』『便  
利になってよかった』『ク  
ーポンがなくなるのは困る』  
『所得に応じた給付にして  
ほしい』『変更するなら初  
めからやるな』という意見  
を頂いたが、概ね理解を示  
す意見が多く見受けられた。  
所信表明では『町の単独  
施策は継続していく』、町  
長選挙のリーフレットでは  
『前町長の意志を継いで継  
続する』とあったが、単独  
施策見直しという方向転換  
した理由は。



A (町長) 町民が望めば単独施策を  
継続するとして選挙に出た  
が、福祉単独施策検証会議  
で様々な意見を頂いた。議  
会からも、全員協議会の場  
で様々な意見も頂いた。自  
分が掲げた公約に縛られる  
ことなく、町の将来を考え、  
行政改革を行い持続可能な  
まちづくりに踏み出すこと  
が町長の責任だと考え、決  
断をした。



はまなか なおき  
濱中 直樹

通称「盛土規制法」の施行を受け、残土問題に対する町の考えを問う

Q 町の考えを伺う。

A (町長) 規制区域設定まで法施行後約2年間経過措置期間がある。現存する現場には監視活動を続け、地元の方々の情報共有、都への要請を続ける。

Q 規制区域指定を受ける為の動きは。

A (課長) 東京都が規制区域を指定する際などには、現状を踏まえ適切に意見を上げていきたいと考えている。

A (課長) 4市2町残土連絡会で都知事宛に要望書を提出する

Q 要望書の内容は。

A (課長) 規制強化、地元自治体の抱える問題への理解、残土問題の根本的対策等。

Q 盛土規制法施行後、町の所管はどこか。

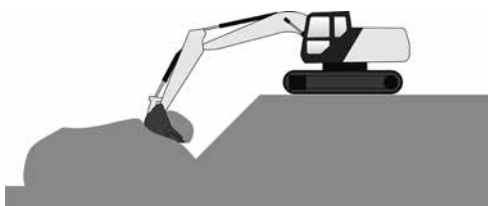
A (課長) 盛土規制法に関しては、まちづくり課となる。

Q 今まで残土問題は生活安全

安心課、建設課、産業観光課が対応してきたが、新たにまちづくり課が加わる。複数の課が所管し、さらに人事異動等も考えられ、過去の経緯や地元の方々の情報共有等、各課の連携が重要となってくるが、町長の考えは。

A (町長)

4課にまたがる問題であることから、情報連携を頻繁に行うことになる。ある意味プロジェクトである。また議員にも情報開示を行い、必要に応じて国会議員、都議に協力を求めていく。対事業者、都など交渉が難しいが、職員を指導しながら取り組んでいく。



あおしか かずお  
青鹿 和男

空き家対策について

Q 政府が今国会に提出する空家対策特別措置法改正案の概要が1月23日判明した。改正案の内容は。

A (課長) 「空家等の適切な管理及びその活用を一層促進するため、空家等活用促進区域(仮称) 制度の創設、適切な管理が行われていない空家等に対する措置の拡充、空家等管理活用支援法人(仮称)の指定制度の創設等を行う」とされている。

A (課長)

Q 町の空き家の現状と今後の対策は。

A (課長) 令和3年度にシルバー人材センターに委託した「町内空き家確認作業委託」では235件が報告され、4年11月から、職員が現地調査を行い、空き家が182件確認されている。

A (課長) 平成27・28年度に同様の手法で調査を行っており、その調査結果での空き家が130件であった。5年が

経過して空き家が増加していることが考えられる。

今後の対策は、令和4年第4回定例会最終日の町長報告で、「日の出町空き家等対策に関する協定書の締結について」で報告しているが、民間団体と協力連携し、公益社団法人東京都宅地建物取引業協会西多摩支部との協定により、2月27日に空き家相談会を共同で開催した。また、シルバー人材センターの事業「空き家管理サービス」にて管理不全の報告があった空き家の所有者に周知するなど、取り組んでいる。





# 視察レポート

吉岡町 「子育て世代包括支援センターについて(ワンストップサービスや運営について)」  
前橋市 ①マイタク(でまんど相乗りタクシー)について ②電子母子健康情報について

## ◎ 吉岡町 ○ 目的

吉岡町では、妊娠・出産・子育てに関する相談窓口として、保健センター内に「子育て世代包括支援センター」を開設し、ワンストップサービスを提供している。

当町では、令和6年度から「こども家庭センター」の設置が予定されており、本事業開始までの過程や問題点など様々な視点から調査を行った。

## ○ 所感

令和2年度組織機構改革を実施、子育て世帯の増加に合わせたニーズへの対応と利便性の向上を考慮した体制にするため、保健センターを活用した子育て世代包括支援センターを開設した。

出生届や転入届などの提出時に、役場隣の子育て世代包括支援センターで検診



吉岡町の母子保健センター

や予防接種・児童手当など子育て関連の手続きや相談活動をワンストップで実施している。課題は専門職の職員の確保と多様な相談への適切な解決策の提示と伺った。

当町での「こども家庭センター」の開設が待たれていると感じた。

## ◎ 前橋市 ○ 目的

マイナンバーカードの公的個人認証サービスと空き領域を利用したサービスを先進的に展開している。マイナンバーに元々登録されている公的個人認証により、正確な本人確認・登録を行

い、条例で使い方を定めれば利用のできる空き領域を活用し、でまんど相乗りタクシー(以下「マイタク」という)、電子母子健康情報など、マイナンバーカードを多目的に利用している。本事業開始までの過程や協議内容、問題点など、様々な視点から調査を行った。

## ○ 所感

マイタクは、移動困難者のためのタクシー運賃補助制度であり、前橋市内9社のタクシー会社で利用可能で、紙ベースの利用券から始まり、令和4年4月からマイナンバーカード併用を本格導入した。利用条件は一人1日2回、年間で70回までで、相乗りも可能で市外への移動もできる。ただし、前橋市郊外の人たちにとっては利用しにくい環境にあるため、課題がある。

日の出町では、超高齢社会でドアtoドアの「マイタクシステム」の導入が必要であると感じ、今回の先進事

例を参考に事業を展開することが望まれる。

電子母子健康情報の「OYACOplus」という親子健康情報サービスでは、総務省ICT街づくり推進事業を受託して平成24年にスタートした。市が所有するデータを利用者へ返すことができ、好評を得ている。前橋市はこのサービスを基に、生涯健康情報サービスへの展開を模索している。当町でも同様なシステムを活用し導入コストを抑えることで利活用が可能と考える。



群馬県前橋市にて

# 議 会 日 誌

## 全国町村議会議長会自治功労者表彰

町村議会議員として27年以上、また15年以上在籍し功労があった者として2名の議員が表彰されました。



青鹿 和男 議員（27年表彰）



平野 隆史 議員（15年表彰）

## 編集後記

日の出町は自然豊かな町です。去年の秋には、旅する蝶アサギマダラが日の出山荘、玉の内ふれあい農園に飛んできました。約2000km北から南、南から北へと海を越え山を越え力強く飛びます。その姿は実に優雅で人を惹きつけて離さない魅力があります。今年の秋にも飛んでくるかなぁ？期待で夢が膨らみます。

編集委員 中西千恵

## 議会だより編集委員

木住野 智行      縄井 貴代子      濱中 直樹  
中西 千恵      折田 眞知子      大澤 弘子  
(編集委員長)

発行 日の出町議会 編集 議会だより編集委員会

〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780 TEL 042(588)5148(直通) FAX 042(597)4369

再生紙を使用しています。

## 秋川流域市町村議会議員大会

2月15日にあきる野市役所で開催され、日の出町議会からは2名の議員が意見発表を行いました。



演題 「つるつる村大作戦」  
発表者 大澤 弘子 議員



演題 「大事にしたい西多摩弁」  
発表者 木住野 智行 議員

## 秋川流域がん対策推進議員連盟

4月1日に開催されたひので桜まつりにて、広報活動が行われました。



秋川流域がん対策推進議員連盟